

研究参加施設で診療を受けられる皆様へ

以下の研究参加施設では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	頚椎圧迫性脊髄症（DCM）の神経学的所見の精度および影響を及ぼす因子の解明 ～無症候者1211例との比較～		
② 実施予定期間	実施許可日から 2025年3月31日		
③ 対象患者	<ul style="list-style-type: none"> ・DCM 症例：対象期間中に山口大学医学部附属病院で DCM に対し手術治療を受けられた患者さん ・無症候者：対象期間中に名古屋大学医学部附属病院で頚椎ドックを受診された方 		
④ 対象期間	DCM 症例 2012年4月1日から2022年12月1日 無症候者 2006年2月1日から2008年2月28日		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	整形外科		
⑦ 研究責任者	氏名	船場 真裕	所属 整形外科
⑧ 使用する情報等	<ul style="list-style-type: none"> ・背景：年齢（DCM症例は手術時、無症候者は頚椎ドック受診時）、性別、病名、喫煙有無、 ・身体所見：身長、体重、BMI、神経学的所見（深部腱反射、感覚障害、筋力）握力、10秒テスト、Finger escape sign（小指が内転保持できないDCMに特異的な症候） ・画像所見：頚椎X線、頚椎MRI 		
⑨ 研究の概要	頚髄症においてはMRIで脊髄圧迫所見が診断のゴールドスタンダードですが健常者でも無症候性の脊髄圧迫がありえます。そのため神経学的所見とMRI所見の整合性が診断に重要です。しかし健常者との比較を行い精度（感度特異度）解析した大規模な報告はありません。頚椎部圧迫性脊髄症および無症候者を対象とし背景因子、神経学的所見および画像所見を検討し、神経学的所見の精度、有用性および特徴を明らかにすることです。無症候者データは共同研究機関である名古屋大学より収集し特定の個人が識別できないよう加工されDVD媒体で郵送されます。		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2023年 5月 23日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧		

	<p>できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。</p>		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	研究グループに帰属します。		
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部附属病院整形外科および名古屋大学医学部附属病院整形外科の奨学寄附金		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 整形外科 担当者：船場 真裕		
	電話	0836-22-2266	FAX 0836-22-2267
	名古屋大学医学部附属病院 整形外科 担当者：中島 宏彰		
	電話	(052)741-2111	

別添

研究組織

研究代表者： 山口大学医学部附属病院 整形外科 助教 船場 真裕

研究参加施設と研究責任者

名古屋大学医学部附属病院 整形外科 中島 宏彰

山口大学医学部附属病院 整形外科 船場 真裕